

商品番号 **E152-S** 全3巻セット / 13,200円(分売不可 / 税込・送料別)

高大接続を意識した英語教育と 学校改革の可能性 ～公開研修会～

監修=山岡 憲史 立命館大学 教育開発推進機構 教授 講師=松川 慈 奈良県立青翔中学校・高等学校 教諭 / 吉嶋 幸子 前滋賀県立玉川高等学校 教諭、現滋賀県立草津高等学校 教頭

新学習指導要領が重視する『思考力・判断力・表現力等』の育成を目指して、学校の方針に沿いながらグローバルな観点から高校英語教育を設計するための実践事例と、全教科を巻き込んだ学力向上を視野に入れた英語科中心の高校教育改革の事例を学び、よりよい高大連携の在り方を探っていく機会として、お二人の先生を講師に招いて開催された研修会。

松川慈先生は、全国初の理教科単科高校における、「将来グローバルに活躍する科学技術系人材の育成」という学校目標に向かって学校全体で授業改善を行う日々の取り組みをお話しされています。

吉嶋幸子先生は、文部科学省指定事業の研究主任として、また授業の最前線に立つ英語科教員としての実践・研究の中で見つけた組織づくりや体制づくり、授業づくりや評価指標づくり等のノウハウ(Dos & Don'ts)を皆さんにお伝えしています。

自分なりの思考をし、問いを立て、それに答えられるかどうか。様々な事象を判断する力、それを論理的に表現していく力。大学で求められる力、そこへつなげるために高等学校でこれからやらなければならない、そんな指導実践例がここにあります。

ぜひ、ご覧いただき、授業改善の参考にいただければ幸いです。

本物の教師による、
本物の実践!

E152-1 ニーズに特化した英語教育、英語表現

95min

講師= **松川 慈** 奈良県立青翔中学校・高等学校

青翔高等学校は全国初の理教科単科高校という特色を持ち、現在SSH校として2期目の指定を受け、「将来グローバルに活躍する科学技術系人材の育成」という学校目標に向かって全校体制で取り組みを進めています。最終学年である高3のゴールを、それぞれの生徒が探求科学研究について英語ポスターやスライドを作成し、プレゼンテーションと即興の質疑応答に対応できる英語力を身につけることとしています。その目標達成に向けて中学1年生から表現力を伸ばすために学年ごとに英語の授業内容を工夫しているとともに、英語科だけでなく、国語科や理科などの他教科との教科横断的な授業内容を多く取り入れています。ここでは、論理的思考力、情報収集力、情報分析力、コミュニケーション能力といった実用的な力を、授業を通じて育てられるように学校全体で授業改善を行う日々の取り組みをお話しし、あらゆる場面で論理的に自己を表現することができる生徒たちが育っている様子をご紹介します。

④従来の英語科目とのつながり

2. コミュ英との連携(高1)

<Readingにやや重点のある4技能統合型>
読解力の育成・Summarizing・Retelling

教科書を活用する

→負担を減らし、持続可能な授業準備
・付属のデータCD内の教材を活かす

→どの先生でも取り組める実践内容

・ワークシートで流れを示し、共有

E152-2 学力向上の取組みを通じた人材育成STORY

114min

講師= **吉嶋 幸子** 前滋賀県立玉川高等学校 教諭、現滋賀県立草津高等学校 教頭

【学び方改革は学校改革～A journey of a thousand miles begins with a single step!!】

現在、高大接続改革の推進や新学習指導要領の趣旨に沿った学びの実現が、全ての学校で必要とされている中「0から1を生み出す」「協働・共有して進める」ことの大変さや難しさを感じながら日々過ごされている先生方が多くおられると思います。このことの実現に向けて邁進し、「コンピテンシーベースの学習指導への転換が、学校を、生徒を、先生を変える」「生徒は授業の変化に敏感であり、授業で変わる」ということが実感できるようになりました。文部科学省指定事業の研究主任として、また授業の最前線に立つ英語科教員としての実践・研究の中で見つけた組織づくりや体制づくり、授業づくりや評価指標づくり等のノウハウ(Dos & Don'ts)を皆さんにお伝えし、悩みや喜びを共有できたらと思っています。

高大連携研修のいささつ ～生徒の声～

高校	ペアやグループでの学習	考える過程が大切な授業
	自己表現する授業	探究的な学習

そんなに考えるのは
なぜ? 必要?

話し合うことは
楽しくなってきたし、
授業もわかる...

でも、高校でやって
いることは、将来
役に立つの?

答えが合っていれば
いいのでは?

E152-3 解説・インタビュー編

92min

監修の山岡憲史先生と講演者の対談によりそれぞれの発表を振り返り、内容をより深めていきます。さらに高大接続の現状について考え、セミナー参加者からの質疑応答も収録しています。



商品詳細・ご注文は通販サイトから... www.japanlaim.co.jp/

📺 サンプルムービー配信中

JLC ジャパンライム株式会社

TEL.03(5840)9980 FAX.03(3818)6656

〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-14

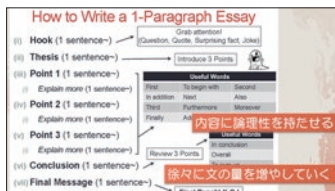
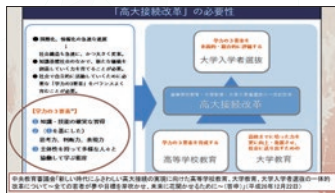
ジャパンライム E152

検索

【お申込み・お支払い方法】ご希望の商品番号を指定し、電話かハガキ、FAX、もしくはDVD通販サイトにてお申込みください。受注確認後3～6営業日後でお届けします。

○送料は1回につき800円(税込)。○到着日指定で「代金引換(手数料無料)」の宅配便でお送りします。○カード(VISA、MASTER、AMEX、他)もご利用できます(分割可)。

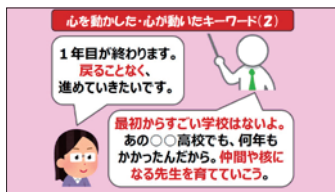
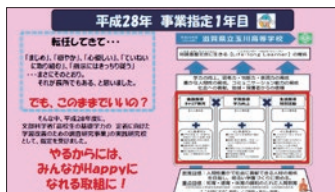
E152
2020.1

高大接続を意識した英語教育と学校改革の可能性 ～公開研修会～**E152-1 ニーズに特化した英語教育、英語表現** 95min講師＝ **松川 慈** 奈良県立青翔中学校・高等学校

- 自己紹介、山岡先生との出会い、モットー
- 英語教員として大事にしていること
- 学校紹介 奈良県立青翔中学校・高等学校
- 「前提1」…大学で何が求められているか。
- 「前提2」…勤務校で何が求められているか。
- 求められる力を育てるための学校設定科目
 1. Super Science 英語(高1&2)
 2. Global Communication 英語(高3)
 3. Summer Camp(高2、8月)
- 従来の英語科目とのつながり
 1. 英語表現との連携(高1・2)

論理的に
自己を表現できる
生徒を育てる!

2. コミュ英との連携(高1)
 3. 中学英語との連携
- 育てた力を活かす場、海外研修
 - 育てた力を活かす場、海外からの訪日生徒との交流
 - 他教科との連携
 - 最後に…

E152-2 学力向上の取組みを通じた人材育成STORY 114min講師＝ **吉嶋 幸子** 前滋賀県立玉川高等学校 教諭、現滋賀県立草津高等学校 教頭

- 自己紹介
 - 教員生活の中で常に問い続けていること
 - 文部科学省指定「高校生の基礎学力の定着に向けた学習改善のための調査研究事業」(H28～H30)の指定を受けて
- <玉川高等学校・研究主任として>
- 平成28年 事業指定1年目の取り組み
 - 1年目①:「全員が実践者になろう」
 - 1年目②:体制・組織づくり＝仲間づくり
 - 1年目③:「玉高での教育・学びの設計図」づくりの1年目、としての位置付け
 - ぶれない土台をもち、それを浸透させる＝学習指導要領(現行&次期)を熟知
 - 軸となる組織を立ち上げ、その役割を明確に
 - 【評価問題(記述式)】の作成・分析継続
 - 【授業研究会】の実施、ワークシートでのFB…他
 - 平成29年 事業指定2年目の取り組み
 - 2年目①:授業研究会、公開授業

組織・体制づくり、
授業・評価指標づくりの
ノウハウ (Dos & Don'ts)!

- 2年目②:高大連携研修、ICT導入
 - 2年目③:授業づくりおよび指導法の研究・実践、「学びの基礎診断」実施(試行調査、H28から)
 - 肩の力を抜いて、より「教職員自身が楽しい」実践へ!
 - 授業内でペアやグループ等での活動を配する
 - 「ペアやグループで活動」しさえすれば、「アクティブラーニングの視点に立った学び」?…他
- 平成30年 事業指定3年目の取り組み
 - 研修後のワークシートの改良・工夫…他
- <玉川高等学校・英語担当教員として>
- <草津高等学校に転任して、今>

E152-3 解説・インタビュー編 92min

■ 研修会の趣旨について(山岡先生)

■ 討議 1

『ニーズに特化した英語教育、英語表現』～振り返り～

山岡先生×松川先生

- 中学1年から高校3年までにどのように変わってきたか?
- 学年ごと、学期ごと等のスモールステップでの目標をどのように意識させているか?
- ルーブリックのようなものを作成して、生徒にも持たせているか?
- 基礎力の養成と、それを発信へと繋げていくためのポイントは?…他

■ 討議 2

『学力向上の取組みを通じた人材育成STORY』～振り返り～

山岡先生×吉嶋先生

- 文部科学省指定「高校生の基礎学力の定着に向けた学習改善のための調査研究事業」における、3年間の成果について(教師の変化、生徒の変化)
- 授業に対する意識の変化、スタイルの変化(生徒に対して)について
- 英語科は、学校の教育活動の中でどのような役割を担うか?

- 他の教科との取り組みの中で上手くいった実践例は?
- 英語科と国語科の連携について…他

■ 討議 3

『高大接続を意識した英語教育と学校改革の可能性』

山岡先生×吉嶋先生×松川先生

◎ 高大連携について(鼎談)

- 大学で求められている力とは?
- 大学側の対応状況について

◎ 質疑応答

- サイエンスで必要となる用語、例文はどのようにして作成しているのか?
- 大学入試(特にAO入試)と「総探(課題研究)」との関連について…他

■ まとめ(山岡先生)

- 高等学校での指導実態調査
- 松川先生・吉嶋先生の実践に共通すること
- 今日の発表での5つのキーワード



商品詳細はこちら▶

3巻目インタビューの抜粋記事も掲載しています!

